

解脱金剛 72 年祭

日本民族の靈性を浄化し、魂の覚醒をはかる

金剛さまの祥月命日である11月4日、京都・御寺泉涌寺において解脱金剛72年祭が執り行われ、金剛さまの御法要と今年度の解脱金剛宝塔内に齋祀される精霊21体・22霊の法要が営まれた。



舍利殿の回廊から上村長老猊下よりご挨拶を賜る



金剛宝塔前にて岡野理事長がご挨拶



岡野理事長から泉涌寺へ浄財が献納された



上村長老猊下の導師のもと御法要を厳修



齋祀精霊を捧持し、金剛宝塔まで参進



御寺泉涌寺大門付近にて受付の様子

新型コロナウイルス感染症対策として参加者が人数制限され、全国会員代表650人が参列した。御寺泉涌寺大門付近に設置した受付で、手指の消毒、検温、参加者用リボンの確認を行った。会場は、ソーシャルディスタンスをとるため間隔を空けて椅子席が設けられた。

午前10時30分、法要に先立ち、解脱金剛宝塔前で岡野英夫理事長はじめ本部役員により奉告祭が行われた。

好天に恵まれる中、舍利殿にて岡野理事長、渡辺孝彦顧問はじめ、本部役員、導師、職衆が入堂された。

正午、第1部御法要が開式。御宝前にて岡野理事長が敬白の文奏上。引き続き、執り行われた解脱金剛72年祭法

要では、上村貞郎長老猊下を導師に職衆が読経。岡野理事長、渡辺顧問が焼香を行った。続く齋祀精霊御法要では、新たに齋祀された22霊の俗名が読み上げられ、遺族らは回し香炉で各自席にて焼香を行った。

今回は、昨年4月3日に霊界入りされた、故・岡野聖法長老が齋祀された。

式辞で岡野理事長は「御寺泉涌寺の尊さを多くの人々にお伝えしなければなりません。日本民族の靈性を浄化し、魂の覚醒をはかることにより、現在の困難な状況を打破し、解脱金剛宝塔に鎮まります御精霊と共に我々は自らの手ですべての命が調和する新しい時代、世界を切り拓いていくことをお誓いし

ましよう」と述べられた。

献納の儀では岡野理事長より上村長老猊下へ浄財が手渡され、続く挨拶の中で上村長老猊下は、御礼に続いて「一日も早くコロナが収まって、また皆さんと元気にお会いできるのを楽しみに待っております」と述べられた。

続いて齋祀精霊が奉持され、解脱金剛宝塔へ岡野理事長らと遺族が参進し、第2部奉齋の儀が行われた。岡野理事長による敬白の文奏上、焼香、勤行と続き、岡野理事長が挨拶を述べた後、自由参拝となった。

尚、当日の行事の様子は本会ホームページ会員専用ページにて視聴することができる。

第160回健康学園コース

家庭内のできる健康指導を学ぶ

第160回健康学園コースが10月25日、御霊地・解脱研修センターにて開催され、総勢32名が集った。感染症対策を行いつつ、1日での開催となった今回の健康学園は、「家庭内で行うことができる健康指導」をテーマに、夫婦、親子、または支部の仲間の方との2人1組での参加形態をとった。

研修は、午前10時に開講。三浦純教育部長の開会挨拶の後、西脇武利教育部次長を講師に呼吸法を実習、参加者は深

い呼吸で気持ちを整えた。続く津村和範教育部主任による「解脱有食法」の講義では、天茶の効能や体験談が紹介され天茶の尊さを再確認した。

昼食後は、「足心道・掌心法」「体位矯正法」の2つの班に分かれてそれぞれ実習が行われ、研修生は実生活で実践できるよう細やかな指導を受けた。続いて、三浦教育部長が「生命への感謝」のテーマで講話した。

参加者からは「家庭で今できることを



実行していきたい」「病気は食べ過ぎからきていることもあり、自分に当てはまっていると思ったので気を付けたい」「継続して学んで支部会員さんに伝えていきたい」など、生命と体の尊さや縁ある方へお伝えする大切さを感じたとの声があがり、有意義な研修となった。

関西圏域・御寺泉涌寺清掃奉仕

会員有志が真心の清掃



11月1日、秋晴れの中、関西圏域会員の有志による御寺泉涌寺清掃奉仕が行われ、各教区より総勢71名が集った。

当日は、午前10時より解脱金剛宝塔前にて、斎藤安彦本部教務員の先達で御挨拶を行った後、報恩日の出講者である早川廣美常任理事より「金剛さまの御年祭では御寺泉涌寺を貸し切りの状態で行わせていただけることに誇りを持ち、金剛さまのご精神である御寺泉涌寺を護持する気持ちで清掃奉仕をさせていただきます」と激励を受けた。その後、それぞれ担当場所に分かれて清掃し、午前11時半に終了。宝塔にて御礼の報告をして締めくくった。

神戸教区・親学セミナー

コロナ禍でもできることを

神戸教区は9月27日、「親学セミナーWITHコロナ」を神戸中央支部にて開催した。本部より堀川剛史指導員の出講のもと、43名（子供4名含む）が参加した。

当日は、西田義信教区長の挨拶の後、「命の大切さ」についての感動的な紙芝居を兵庫伊丹支部の会員が披露した。その後、こども作文発表として「私の家族」をテーマに神戸中央支部の子供2名が発表した＝写真。

出講の堀川指導員は終始、楽しい雰囲気の中、「喜び人には喜びが集まる」「幸せ作りには笑いが一番」等の勉強を伝え、実際に行う大切さを強調した。午後は、荒川洋三健康指導員より「み教えと健康学園」の講義の後、堀川指導員から足心道の指導を受け、コロナ禍でもできる自療法を学んだ。最後にコロナの収束を願い、世界人類怨親平等供養を行った。



大阪教区・修法研修会

支部の中心となる仲介者に



大阪教区では10月25日、教区修法研修会を大阪布教連絡所において15名が参加のもと実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、窓、ドアの

全開放、扇風機の利用、手指の消毒等、ソーシャルディスタンスを守り、各支部2名までの参加と限定しての研修となった。

当日は、本部より福澤文雄指導員を出講に迎え、支部長を支えて各支部の中心となる仲介者の養成について、簡潔で理解しやすい講話を受けた。5組に分かれて実修を行い、さらに細部にわたって学んだ。

女性講座・かたばみ会

「女性の学び」ライブ配信で講演

10月25日午前10時30分より本部道場において「女性講座かたばみ会」が、若い女性に向けた「女性の学び」をテーマに、セラピストでもある岩田豊美常任理事を迎えて行われた。

当日は感染症対策のため、会場には運営委員のみが参加し、行事の様様をインターネットを通じてライブ配信した。岩田常任理事は、現在のコロナ禍の状況下で安心して生活を送るためのコツや、会員としての女性の役目、学びについて1時間程の講演を行った。なお、この時の映像は、現在でも本会HPの会員専用ページから視聴することができる。



新潟加茂支部・創立70周年記念感謝会

日々生活できる感謝と喜び



出席のもと、支部創立70周年記念感謝会を開催した。

当支部は、昭和25年に京橋支部より独立し、初代支部長の野本藤兵衛氏が新潟加茂支部として創設。同37年に正次氏が継承し、平成28年に清水隆善氏が3代目支部長に就任した。

新型コロナウイルス感染防止

はじめ当支部を盛り立てて来られた多くの先輩方が霊界入りした一方で、新たに若い方の顔ぶれも多く見られ、10年前とは趣の異なるものとなった。その中で、清水支部長より支部創設に至る経緯とこれまでの歩みが伝えられ、先覚者の余徳により今日の「今ここ」があることの有り難さを再確認した。

祝賀会では、会員たちが一言スピーチを述べ、解脱にご縁を頂き、日々生活させていただけていることへの感謝と喜びが語られるなど、それぞれが自身の有り難い運びやお蔭さまを実感する穏やかで和やかな時間を過ごし、創設80周年に向けて更なる精進を誓い合った。

新潟加茂支部は10月18日、支部道場において、本部より倉田正治常任理事の

への配慮の中で執り行われた今回の祝典は、ここ10年間で野本祥二名誉支部長

岐阜関ヶ原支部・秋季怨親平等大供養祭

秋季怨親平等供養祭を催行



た天茶供養によるものと会員から喜びの声があがっている。特に10月21日には、県経営の「岐阜関ヶ原古戦場記念館」が新設オープンされ、コロナ禍で入場人数制限はあるものの大勢の観光客で賑わっている。

秋晴れの中、10月25日滋賀教区岐阜関ヶ原支部では、秋季怨親平等大供養祭を厳粛に執り行った。

コロナ禍で様々な地域の活動が自粛となる中での開催にあたり、事前に地元自治会長、町役場などに足を運び、協力が得られた中、今回も会員のみで執り行われた。その中には過去に支部へ多大なるご尽力された会員も多く見受けられた。

式典は、国歌斉唱、金剛さまのみ声を拝聴し、安田信二支部長による表白の文奏上。青少年による献花、女性部による献天茶、女子青年部による献茶と親子孫が揃って真心から捧げる献供の儀を執り行った後、怨親平等大供養を三巻厳修。

近年、当地域は道路の整備・観光客の増加・新施設の建設と全体に明るく美しくなり、これも金剛さまがお遣し下さっ

スポットライト

多くの活動に従事され



東北第二教区 釜石大町支部

菊地 洋一さん(71歳)

岩手県釜石市在住の菊地さんが、9月9日に法務大臣表彰を受賞した。これは、平成13年9月に保護司の委嘱以来、罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に努め、現在、釜石地区保護司会事務局次長として活躍する功績に贈られたもの。

菊地さんはその他、釜石市役所職員として38年間にわたり職務に精励し、都市行政の推進と住民福祉の増進に寄与したことから、平成22年1月に岩手県市長会から優良都市職員として表彰されている。また、剣道指導者の横顔を持つ菊地さんは現在、釜石市剣道協会副会長を務め、長年の青少年健全育成と地域社会発展への尽力に対して、平成6年11月に日本善行会から表彰され、平成14年7月には岩手県剣道連盟から功労賞が贈られるなど、郷土へ貢献する菊地さんは周囲の人望も厚い。菊地さんは「脑梗塞で2度倒れ、生命の有り難さを痛感した。表彰を契機に多くの人からのご恩に報いたい」と喜びを語った。

年末年始の開館時間について

年末年始の開館時間は以下の通りとなります。ご理解の程よろしくお願いいたします。

- 本部道場
 - 12月27日～30日 [9時～18時]
 - 12月31日 [9時～17時]
 - 1月1日 [8時～16時]
 - 1月2日～3日 完全閉館 ※緊急の場合は御霊地道場へご連絡ください。
 - 1月4日～ 通常業務
- 御霊地道場
 - 12月31日～1月1日 [8時～翌17時]
 - 1月2日 [7時～17時]
 - 1月3～4日 [8時～17時]
 - 1月5日 [8時～19時]

元旦祭について

- 日時：令和3年1月1日(金) 午前11時開式
- 場所：御霊地・太神社殿前
- ※新型コロナウイルス感染症対策として、行事は常任理事以上の役員のみで斎行するため、会員は自由な時間にご参拝ください。縁起物(宝船)の販売は元旦のみ行います。接待(おしるこ、うどん、お神酒)はございません。※絵馬の奉納は、正月三が日に御霊地社務所にて受け付けます。

令和3年度 本部布教活動方針

靈性の浄化と魂の覚醒を

世界は一人の心から 平和は一人の祈りから

世界は今、グローバル化が進む中で急激な変化を遂げています。時代は今、世界の動きにもなつて新たな方向に進んでいます。社会は今、かつての常識が見直され価値観の転換が図られています。

科学技術の進歩によって地球は狭くなり、国際交流によって世界は近くなりました。しかし、グローバル化が大きな危険性を孕んでいることは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって露呈される形となりました。とともに、不安や恐怖の心に発する差別や攻撃の心を乗り越えて平和な世界を築くためには、相互の信頼と協力によって地球が一つにつながり、新たな方向性をもって取り組む必要性が深く認識されるようになりました。

近年の地球規模で現出するさまざまな現象には、全人類が気づくべき重大な意味があるに違いありません。規模が深刻さを増す自然災害や疫病などは、全人類に与えられた貴重な試練とも考えられます。

文明の進歩によって人類は、豊かさや安心を手にし、自由や平等を獲得した反面、自然環境は悪化し、人類の生存を脅かす核兵器や生物・化学兵器なども開発されてきまし

た。人智が開け、技術が進歩し、人力をもって自然を利用してきた人間中心の傲慢な歴史は、今や深い反省が求められ、絶対の法則のもとで万物が調和し、自然との共生に向かわなければ人類に明日はないことを知覚するに至りました。

今まさに魂の覚醒を得る絶好の機会ともいふべき非常重大の時期を迎えています。そして、今後も予断を許さない厳しい状況が生まれることも覚悟しておかなければなりません。いよいよ解脱の真価が問われる時です。いかなる事態に遭遇しても微動だにしない精神力は、解脱の道によって得られます。

私たちが生きるこの世界は、私たちの心が形になったものです。人心は世界です。一人の心が濁れば世界も濁り、一人の心が清まれば世界も清まります。平和もまた一人の祈りから始まります。非常事態を経験した私たちには、未来の子孫に明るい希望を与えるために、祈りと供養に徹することで仁愛と至誠の心を錬成し、その心を現実生活に表現して、人間として生かされている使命と責任を果たす役目があります。

この世に無意味に存在するものはありません。この世に役目がある限り、私たちは生かされます。生かされて生きている生命を確信し、感謝報恩の生活に徹すれば、安心立命が得られます。私たちの活動の主眼はここにあります。

青年本部活動方針

アクション! よりよい社会をつくろう

◆全国青年部員の取り組み◆

①祈ろう!

●朝と夕に、神々様、五智如来様、解脱金剛さま、ご先祖さまにご挨拶をさせていただきます。

●ご先祖さまに感謝の気持ちを込めて天茶供養をさせていただきます。

②学ぼう!

●支部へ足を運び、支部長からご指導を頂き学びを深めましょう。

●支部行事や青年部活動に参加しましょう。

③やってみよう!

●家族の人たち、学校や地域の方々に、進んで挨拶をしましょう。

④勇気をもって友達をさそってみよう!

●青年部行事にさそって一緒に参加しましょう。



☆今よりさらに充実した人生を送るために……

全国の青年部員と一緒に、上記の取り組みをやってみましょう!
全国のどこかで、あなたと同じ時に、一緒にやっている仲間がいます。
仲間との「大切な絆」を感じながら、あなた自身のために、取り組みましょう!

女性部

●女性目標

女性らしい女性



●実践目標

女性活動合言葉「やすらぎ あったか 思いやり」を実践するために、人の幸せを喜び合ひましょう。

●活動目標

お互いの和を計りましょう!

こども会

みんなでこどもを育てましょう

●こども育成目標

思いやりのあるこどもを育てましょう!

●実践目標

家族の時間を大切にしましょう。

○親子孫ふれあいの時間をもちましょう。

○ふれあいの中で教を学び合ひましょう。

